

地域や保護者と「子どもたちのために」を合言葉に

副校長 平野 千恵

新校舎で学校生活を送るようになってから、早1か月が立とうとしています。朝夕と一日2回学校を見回り校舎内の点検を行うのが私の日課なのですが、木のぬくもりと香りに包まれた校舎を歩きながら、毎日新校舎で学べる喜びをかみしめています。この新校舎は木材の使用率が他校に比べると多いとのこと。昇降口の上を見るとただの天井ではなく、木材が縞のように並べられています。職員室の床も木材でできています。また、新校舎は旧校舎とは違った眺めの良さがあり、家庭科室からはつつじが丘小はもちろん、さらに遠くまで見通すことができます。ぜひみなさんにもこの新校舎を見ていただきたいです。先月の学校だよりでも掲載しましたが、11月21日(土)に新校舎お披露目会&旧校舎お別れ会を開催します。ご来校をお待ちしています。

新校舎への移転に伴い、夏休みの間、教職員が自分の担当の業務を確実に遂行し子どもたちが安全・安心に学校生活を過ごせるよう準備を行いました。下駄箱から教室への動線、教室内の掲示物、校内掃除の分担など、物が新校舎に収まればそれでいいわけではなく、子どもたちが旧校舎にいた時と同様、秩序をもって学校生活が遅れるよう教職員一丸となって準備を行ったのですが、実際生活してから初めてわかる課題点もありました。今後も子どもたちの様子を見ながら教職員が柔軟に対処できるよう、その都度話し合いを進めています。

また、体育館の改修工事に伴いしばらくの間正門から南門へ子どもたちが使用する門が移動することになりましたが、最初の2、3日は戸惑ったものの、今は落ち着いて登下校を行っています。最初の3日間、子どもたちが安心して登校できるよう、校外委員の皆様が要所に立って見守りをしてくださいました。そして危険な場面を学校と共有してくださることで、私たち教職員も視点をもって登下校指導ができるようになっていきます。

そして引っ越し作業は教職員だけで行ったわけではありません。図書館の運営上、書籍の配架は教職員のみでの作業がとても難しい状況でした。そのため、学校地域コーディネーターを中心に地域・保護者の方々の協力のもと、図書館の書籍を分類ごとに並べていただきました。本当にありがたいことです。お礼を述べに来館すると、「結構楽しんで作業をしているのですよ。」という温かくも頼もしいお言葉をボランティアの皆様からいただきました。

つつじが丘小学校は、いつも地域や保護者から大事にされていると実感しています。そのことをいつも心に刻みながら教職員一同「子どもたちのために」を合言葉に職務に励みます。

